

☆「2018年3月末のオスプレイ暫定配備報道関連」に対する号外です。

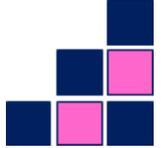
きさらづ市民ネットワーク 市議会議員



【号外】田中のりこの議会速報

◆発行 きさらづ市民ネットワーク
◆住所 木更津市八幡台 3-4-8
◆TEL 36-0677
◆Mail tanaka-noriko@live.jp

◆発行日 2018年4月20日
◆HP 田中のりこと市民ネット
◆facebook・ブログは日々更新中



「陸上自衛隊オスプレイ暫定配備 木更津へ」

報道があった!

暫定配備の「暫定」って いつまで?



防衛省「決定ではない。検討中」

3月26日の一部メディア報道に驚いた。木更津市議会も木更津市も寝耳に水だ。報道は確かなのか、木更津市は防衛省に問い合わせた。

▶防衛省の回答

佐賀空港における施設設備が完了するまでの間の一時的な処置として暫定配備を検討中

「暫定配備」実は長期的?!

「佐賀空港への配備計画が整うまで」というが、佐賀県と漁協が「自衛隊と共用しないこと」を協定で結んできた空港である。県との協定も無視して、国はさらに自衛隊のオスプレイを配備しようとしている。

田中は、昨年4月に佐賀へ行き、地元住民の反対集会(右上写真)で地元自治会や漁協の人たちの声を聴いてきた。とても、配備を容認するとは思えない。もし、それを強行したら、県

と住民の協定も国は無視して進めることになる。



製造終了予定のオスプレイ

防衛省が購入した陸上自衛隊のオスプレイは計17機である。アメリカでは2018会計年度(今年9月末)で調達終了予定の機種である。すでに、改良機が製造されている。製造終了は、何を意味するのか?事故多発のオスプレイであり、危惧する。

暫定配備は5機だけか?

陸上自衛隊のオスプレイは、すでに17機分をアメリカに支払い済みである。複数機が完成し、すでにアメリカで試験飛行を行っている。暫定配備とは今回の5機だけとは限らないのではないか。残り12機もどこに暫定配備するか決まっていない。

暫定配備すれば訓練も?!

「暫定配備」といっても、有事のときには出動できるように、日々の訓練が必要と考える。日常的に訓練は、

✓どんな訓練を?

✓どこでするのか?

✓夜間も行うのか?



など、今後の暮らしに対する不安、疑問がでてくる。防衛省が「暫定配備」を決める前に、木更津市、木更津市議会は、市民の安全・安心のために、防衛省にこれらの疑問を解決するよう、要請すべきだが、国会議員の質問通告にも、防衛省は「決まっていないので、仮定での説明はできない」と回答。

米海兵隊・陸上自衛隊・米空軍

陸上自衛隊のオスプレイ暫定配備、横田基地へオスプレイ配備、木更津駐屯地でのオスプレイの定期整備は塗装段階にはいったと立て続けの報道。

現時点でわかるオスプレイ情報を整理してみた。(裏面参照)

おしえて! オスプレイのこと



オスプレイが話題になったネット事務所でのお茶の時間のひとこまを紹介します。



「オスプレイのニュースがいろいろあって整理しようか」

「あっ、おねがい。」

「木更津で定期整備しているのは、どこのオスプレイ?」

「米海兵隊のオスプレイね」

「そう、そしてニュースの木更津に暫定配備検討のオスプレイは、陸上自衛隊よ」

「あら、じゃあ、横田基地に配備のオスプレイは?」

「米空軍のオスプレイ」

「皆、同じオスプレイなの?」

「それが違つたよ。まず、呼び方。米海兵隊はMV・22、マリンのM。陸上自衛隊はV・22。米空軍はCV・22」

「呼び方が違つただけ?」

「任務も違いがあるの。MV・22とV・22は、戦闘地域などで傷病兵を助け出すときに使う輸送用。CV・22は地形

を広げて、そこに自衛隊のオス

追従リーダーが付いていて、戦闘地域で、攻撃もする特殊部隊の特殊作戦機」

「ところで、定期整備のオスプレイは、どうなってるの?」

「部品が足りなかったり、組み立て工程をすべてアメリカから聞き出し、スバル(整備をしている企業)は、それをマニュアル化するため書き出してたから時間がかかり、遅れてたの。やっと塗装段階。」

5月半ば頃には、試験飛行を一週間ほどする予定らしい」

「暫定配備のニュースのことだけけど、佐賀が準備できるまでって言うてるけれど、どうなの?」

「佐賀は反対しているから、もしも木更津に暫定配備されたらすつとも。どうして、佐賀は無理か説明するね。佐賀空港を作るとき、漁民が持っている田んぼや海を、空港のためにどうぞつて手放したの。佐賀の発展のためにね。」

そのとき、佐賀県と漁民は協定を結んだ。『自衛隊と共用の空港はダメ』ってね。そして空港の隣の土地に引越して空港の隣に引越した。でも、そこは田んぼにもならず、麦を作るしかなかった。ところが今度は、空港を

使って、そこに自衛隊のオス

プレイを置くぞというわけ。今度は麦畑を手放して、またまた立ち退けという話なの」

「あらまー。そんなんじや配備は無理。すつと暫定配備になるね」

「それも、35ha以上なら、住民に環境アセスメントといつて、意見を聴くんだけれど、なんと、33haだから、住民に聞かなくても工事ができる、こそ

くなくやり方。だから、暫定配備はすつとだつと思つよ」

「それは困ります」

「ほんと。困るわ」

「暫定配備はまず5機。日本は、あと何機買ったと思う?」

「それは、計17機」

「それはどこに置くの?」

「決まってるの。まず、5機、さらに追加して言い出しそつ」

「そんな。木更津だつて、置き場がないよね」

「ハリコプターをよそに移してもなんて、考えるかもね」

「やだわ。17機も空を飛ばしても困るわ」

「そうよね。今までオスプレイの事故は、パイロットのミスつて、アメリカは言うてたけれど、オスプレイ自体の機能が

問題と私は思うの。」

「そうね。木更津は風が強いけれど、オスプレイはどう?」

「そうそう、沖縄での夜間の空中空輸訓練中のオスプレイ墜落事故の説明で、追い風に弱いって防衛省は説明してたよ。それに、沖縄国際大学の前泊博盛教授(元琉球新報論説委員長は、昨年12月に木更津の中の島大橋での強風を体験して、沖縄の台風並みだつてびっくりしてたわ)」

■2018年4月17日現在の情報を整理してみました■

陸上自衛隊木更津駐屯地		横田基地
米海兵隊	陸上自衛隊	米空軍
MV-22	V-22	CV-22
戦闘地域での傷病兵を助け出すときに使う輸送用	MV-22と同機能、傷病兵を助け出すときに使う輸送用	戦闘地域で、攻撃もする特殊部隊の特殊作戦機
定期整備	暫定配備を検討(報道)	配備
現在1機目	5機(報道)	今後数年間で、計10機と約450人の要員を配備
試験飛行 相模湾 昼間のみ	常時訓練する? どこで訓練する? 夜間もする?	どこを飛ぶ? どこで訓練する? 飛行ルートは?

「ええ、オスプレイは、相模湾のほうへ飛ばしてよ?」

「あー、相模湾へは、米海兵隊の定期整備したオスプレイが試験飛行するコース。陸上自衛隊の暫定配備のオスプレイは、訓練をするのか、する場合はどこか、どんな訓練かも何もわかんないよね」

国民の9割が支持する自衛隊とは、・災害復旧支援で奮闘する自衛隊。・海外に行っても武力行使をしないできた自衛隊。

憲法9条が変わると、この自衛隊像はがらりと変わるのではないかと私たちは危惧します。